

8

トヨタネ瓦版

トヨタネ株式会社
 本社：豊橋市向草間町字北新切12-1
 /〒441-8517
 社内報 第23号
 総務部経営企画課
 編集・構成：朝倉芳則
 TEL0532-45-4137(代)
 HP <http://www.toyotane.co.jp>
 Email: info@toyotane.co.jp

弊社の苗産業について

私が業界に入った頃(昭和50年代)、苗作りは農家にとって最も重要な仕事、苗半作、または七分とまで言われた。良い苗を作ることが、篤農家の定義であり、良い収穫を得るための必須条件だった。それが平成に入るところから徐々に様子が変わってきた。多くの施設トマト農家は8月に定植する。栽培面積は増え、連作による土壌病害も深刻になり始め、接木という作業も必要になってきた。大規模栽培を指向する農家から徐々に買い苗に頼るようになり、現在も夏場の苗生産は全国的に供給が需要に追いつかない状態が続いている。私なりにその要因について考えてみた。



の種類(ポット苗・プラグ苗・グローブロック苗等)

の複雑さ、1本植え、2本植え、はたまた1本植えの2本ピンチ苗等、選択によって無限大と言ってよいほどのバリエーションがあり、過去の経験値が追いつかない。⑤タネ屋としては言いにくいですが、タネ代もばかにならない：高価な種を定量で買うよりも必要本数の苗をピンポイントで買った方が結果としてお値打ち感がある。結果として、日本農業が少数精鋭化すればするほど、「買い苗需要」は高まる。採算性は後から考えるとして、会社として静岡県磐田市に新たな苗生産施設を建設することを決めたのは、以上の理由です。

川西 裕康



(写真は磐田市内で現在建設が進むナーセリー施設)

プロファームT-cube

早いもので7/11~13のGPEC施設園芸・植物工場展参加から40日が経過しました。

会場では「大仙・デンソー・トヨタネ」と3社の「Triced Agriプロジェクト」及び「プロファーム T-キューブ」のお披露目をさせていただきました。今回はT-cubeハウスの説明ができていませんでした。

この機会に簡単にハウス詳細と特徴の説明をしたいと思います。



【プロファームT-cubeハウスとは?】

標準仕様は豊橋市内で実験棟ハウスを建設し検証。



(T-cubeイラスト)

この実験棟概要は間口8.0m、柱h3300、奥行き51m+1m(網室)、鋼材H150 x 100(耐風速35m対応)で設計を

- ①真夏の接木の難しさ：春ならば、気候もよく、適切に保温・保湿させることで接木は比較的容易であるが、真夏40度も超えるような環境下で安定して接木を行うことは非常に難しく、一定の設備投資が必要となる。
- ②大規模志向と分業化：規模拡大を目指す農家は、生産に専念したい。育苗のための施設を別途用意するよりも、生産面積を増やしたい。
- ③夏休み少しは休みたい：苗作りは最も神経を使う農作業、苗を自作している間は、休めない。収穫中は休みが取れないほど忙しいので、結局1年中休めないことになる。家族サービスや旅行の計画も立てることができない。業者に委託したほうが精神的に楽。
- ④苗種類があまりに複雑：品種の選定、台木の選定、苗

行っています。

- 天窓が無いことで日射量が約4%増が見込めます。また防虫ネットが必要なくなった事も大きな要因となります。今までは1%の日射量をどのように増やすか？という問題でネットの張り方やハウス本体に白色の粉黛塗装をする事や白色専用テープを張ることなど色々1%のためにお客様に提案をしてきた記憶がございます。また今年は特に台風が多く発生する年になりました。
- 天窓が無いことで強風時の心配も減ります。
- もう一つの特徴は換気扇による気流になります。換気扇側から反対の吐き出し側まで0.5~1.5/Sの微風が望めます。

この微風は葉面の温度や風による葉からの蒸散を促す効果があり急な天候の変化による作物の葉の萎れも対象区と比較しても明らかでした。

風を感じることで最近では当たり前になっているハウス内での作業者の作業環境にも良い意味で影響があるのではと考えます。

※『違い：陽圧である。（通常は陰圧です。）』
強制換気の魅力はまだ検証しきれていない部分もありますが今後も引き続きお客様に紹介できるよう検証を続けていきます。

プロファーム事業室 小塚 幸峰

キャベツとブロッコリー

研究農場では露地野菜の品種比較として今年もキャベツとブロッコリーを行います。キャベツとブロッコリーは同じアブラナ科キャベツ類の野菜です。キャベツ・ブロッコリーともきちんとした収穫物をつくるためには定植後の適度な寒さが必要なので栽培時期の気候に合った品種を選択すること、根が過湿に弱いので中耕・土寄せをいねいに行なって排水を良くすることが重要なもの共通しています。またどちらも加工野菜としての需要も高く、愛知県での栽培面積が多い野菜です。

キャベツは球肥大に合わせて追肥をしながら比較的じっくり育てて収穫するので痩せ地から肥沃地まで幅広い土質で栽培できるのに対し、ブロッコリーは花蕾が発生するまでに樹をつくらなくてはならず定植後の短期間の肥料管理が勝負になり肥沃な土地に向く点が違います。キャベツ、ブロッコリー種まきをしてから発芽までは、8月の



今の時期ならばほぼ2日間で、発芽したての双葉の形状は同じようですが、2週間くらい経ち本葉が出くるとそれぞれの特徴が苗の段階から確認できます。

人間に例えるなら、大器晩成の努力派か、早熟の個性派の違いといえるかもしれません。農場で栽培担当になり、野菜の個性が違うのを知ることで栽培の工夫の仕方も変

わってくるのがとても面白く深いと考えずにいられません。



また、農場ではこの秋冬作はハウス栽培ではパプリカとピーマン、房どりミニトマトなど昨年とは違った作物の取り組みも行なっています。新しい発見をお客様にも感じてもらえるよう農場スタッフ一同お待ちしております！

研究農場 林 總喜

夏ばて対策



何かと慌ただしい夏は、「何か疲れやすい……」と感じる人も多いですよね。気温も高く、湿度も高くなれば、体への負担も多くなり疲れやすくなります。ついつい、「疲れた……」と感じるのも仕方ありません。

そんな時は、旬の野菜の力を借りて、夏バテ予防・疲労回復をしませんか？今回は、そんなパワーを持った夏野菜トップ5をご紹介します。

■疲労回復効果が含まれている旬の野菜トップ5

(1) 枝豆

夏野菜の中でも特に栄養価の高い野菜が、枝豆です。一



般的に野菜には少ないビタミンB1・B2を多く含んでいるので、夏バテ予防・疲労回復には最適です！また、ビタミンC・カリウムも豊富に含むので、ビールのお供には、ぜひとも選んでいただきたい逸品です。

(2) トマト



強い抗酸化力のあるリコピンを豊富に含むトマトは、美白・美肌を期待できるだけでなく、実は、疲労回復も期待できます。疲労物質である“乳酸”を分解するので夏バテ対策にはもってこいです。

(3) なす



なすは、特に夏野菜の中でも体を冷やす効果が高いと言われていています。睡眠不足も夏の疲れの原因のひとつですね。気温が下がらず寝苦しくなりそうな夜や、体がほてり寝付けにくい人には特にオススメ野菜です。

また、なすは、ビタミン類やミネラル類のバランスもたいへん良く、食物繊維が豊富で低カロリーなのも嬉しいですね。

(4) 冬瓜

昔から民間療法では、“のぼせを抑え体の熱をとる”と言われていた冬瓜。寝苦しい夜に食べると安眠でき、疲労回復に繋がるでしょう。

また、豊富なビタミンCが免疫力を高めてくれます。疲れにくい体・夏風邪を引きにくい体を作ってくれます。

(5) ゴーヤ

嬉しいことに、ゴーヤのビタミンCは熱に強いと言われています。加熱してもビタミンCのほとんどが焼失しないんですね。そのため、豊富なビタミンCが免疫力を高め、夏風邪予防をしてくれます。

季節ごとに一番おいしい“旬”な食べ物には、その時に体が欲しがらる栄養素がたくさん含まれているんですね。野菜のチカラで夏の疲れた体をリフレッシュして、実りの秋を満喫しましょう！！

ナーセリー課 内藤寛文

HP掲載ブログについて

現在ブログは「社長のつぶやき」、「農場日記」、「クロロフィル」を定期的に掲載しています。掲載スケジュールは社長のつぶやきは月1回掲載、農場日記も同様に月1回で月初めを基本としています。クロロフィルは週3回、年間スケジュールで各部門で担当窓口を設けて全社員が参加できるを基本としています。

「経営計画書」手帳のITに関する方針の(2)ホームページ活用がうたわれています。



Facebook「いいね」「リーチ数」「クリックアクション数」は気になるどころです。社HPで重要なのは継続です。

社を知っていただくこと。他社から問い合わせや売込みがあったときは一般的に誰しも相手先を検索しHPを持っているかどうかでも判断します。またそれが更新されているかどうかでも判断します。当社も当然相手先から対称になっています。広報が如何に大事かお分かりになると思います。看板は大事です。当然いつも看板を綺麗にする磨く継続する。

【閲覧】

3社合弁、Triseed Agriプロジェクト、磐田ナーセリーの記事は関心が高く閲覧数が多く関心に高さがわかります。また生産者にとって現場の情報の記事は関心が高い傾向があります。閲覧される側の立場になった情報提供が求められます。地域に密着した営業所部門、種苗部門や栽培設備設計・サポート部門、ハウス設計部門、研究農場、苗生産部門からの発信は閲覧する生産事業者が求める情報だと思います。社内の報告を見るとその内容を活かして内容等は社外向けにわかり易く情報提供、その情報の価値がありながら活用されないのは残念と思います。

TVでのCMで社へのお客さまクレームを掲載されている企業もあります。管理職や役員まで行った情報がフィードバックされるか疑問が残ります。情報、報告、クレーム、クレームなどは今後価値のある材料(資源)。

社員一人一人が社の看板でもあるホームページの充実を心がけて50周年の内容になるようにしたいですね。

編集 朝倉芳則

交通安全と仕様と操作を考える

基本的にオートマ車が主流である。最近では小型トラックも普及しつつあります。これは安全対策から望むことが多くなっている事情があります。

私の自家用車はハイブリッド車でなく単なるアイドリングストップ付。これが極めて危険を感じる時があります。発進しようとしてアクセルオンにしても前進して行かなくタイムラグで危険を感じます。ハイブリッド車であればスムーズに発進ができますがこ



この点お奨めできない車種でもあります。例えば駐車場の輪留めで止まった時エンジンストップ、このときアイドリングストップと重なってしまったのが原因。制御が働いてエンジンストップであるが制御では起動中。一端エンジンを再起動してからエンジンを切る必要がありました。その後もあるので注意しています。アイドリングストップは基本的にオフの方が安全。メーカーの売りで基本設計はオートでアイドリングストップが優先。ワイパーもヘッドランプもオート。ワイパーなど極端に反応したり、ヘッドランプは安全のため早め点灯、安全のため雨の日なども同様。オートも今後AIが一般的になっても自動の暴走はあり得ます。アイドリングストップの通常運



転で解除方法は発進時左足ブレーキで信号が青で右足アクセルオンである。これが解除方法として理にかなっている。最近はこの方法、以前はエンジンスタート時オフ、面倒でした。

7月の上期勉強会での交通安全勉強会では「ブレーキを踏むまでの時間」《3~4秒》という説明がありました。

【話の内容を分析すると】：右足行動「3~4行程」を経てブレーキを踏む行動に移ることになる。これって変ですね！左足があるじゃないですか？左足を使えば、片方で踏みかえるから間違える。遅れる。変ですね。現実私の場合はレーシングカートやレーシングドライバーのように左足でブレーキペダル、右足でアクセルペダル、両足をペダルに載せているいつもStandby。だから瞬時。0.1~0.2秒でも可能である。この話をする怖いと言いますが論理的に考えればなるほど実際は疑問に思ったら「やってみなはれ」また図式で書いても行程、時間と距離で操作手順を書き出して見える化です。私は実践して

います。レーシングドライバーは危険回避とロスを減らす無駄な行動を減らして競う。見える化をしなくても良いのですがいい意味でのフィードバックされていない。基本は「ブレーキペダル有りき」、「アクセルペダルはアクセサリ」、あくまでも「主役はブレーキペダル」。少し前話題となった「あおり運転」これはされる側の「あおられる運転」日常的に結構多く見られます。周囲に配慮した「あおられない」運転に心がけることとそのような行動を何気なくやっていることに気付くことです。何気なく会話でとろとろした速度、直進なのか左曲がるのに右に寄ったり、右折するのに左寄ったり、また交差点で右折するのにやってはいけないのにすでにハンドルを右に切って待っている。これは危険です。対向車にも迷惑・威嚇、また追突されたとき危険、理由は対向車や右の歩道の歩行者を引いてしまい被害が大きくなる。これは多くの人がやっています。日常茶飯事。自動車学校にも問題があるのではと思ってしまいます。モラルなのかマナーなのかルールなのか。スマホ運転もってのほかですが一般的によく見かけます。速度が遅いと自然渋滞、経済損失です。最高速度厳守より巡航（運行）速度、これが極めて遅い。経済に影響、社であれば風通しの悪い状態となります。安全も経済もスピード、改善の余地が多くあります。気付いたことを書きました。

朝倉芳則

おすすめ! 地域のトピック 「Startup Garage」

コ・ワーキング (Coworking)

意味は事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイルを指すようです。コワーキングと思いましたが。正しくはコ・ワーキングのようです。東京などの都市部では一般的のようです。

「Startup Garage」

豊橋サイエンスコア内にあります。印象、結構便利なス



ペース。しかも無料、飲食持込OK、PC作業、ミーティング、読書も。また壁に描くことができる加工が施してあります。



営業時間（日曜祝日は除く）

平日10:00~20:00

土曜10:00~17:00

施設利用料 無料

フリー電源・WiFi, 椅子30席、
飲食OK

入退出：カード読み込み

何よりも静かである。ミーティングなどをしていても気にならない。壁に工夫されているのかどうか分かりませんが声などの跳ね返りが少ない。環境は良く集中して行うことができます。入退出は登録が必要です。登録費用は無料です。カードは左下画像・中央左（白無地カードまたはまなかカードでも良い）です。左下写真の右側カード読み取りです。きっかけは会合で寄ったとき昼食をとろうと以前レストランがあったところに入って知りました。弁当とパンを販売していました。この近くで車内でエアコンをきかせながら飲食をされる場合はこの施設を利用すれば燃料代もいらないし体も休まることと仕事の準備や整理もできます。

パン工房があります！

作り立てです。右写真が業務用パン焼きオーブンです。小型のタイプですが性能は大型と同じですね。生地は無添加です。ジャムも同様で手づくりです。



「売りは今日中に食べる。」

理由は無添加なので味が落ちるので今日中に食べる。種類は色々あります。一般に市販されている菓子パンのような平均的な合格点に作られた味ではないですね。何個でも食べられるような味ですね！

3歳前後の男の子がアンパン、おかあさんが甘いからほかのパンにしたら、でもアンパン。この男の子はアンパンが一番美味しく好きなんでしょうね！

興味がある方は一度行ってみては如何でしょうか。

朝倉芳則